

□■島根県×タイ ビジネスマッチングイベントレポート■□
MADE IN SHIMANE ～環境に配慮した技術やサービス、製品～



こんにちは、島根・ビジネスサポート・オフィスの柴田です。

島根県は、県内企業の海外展開を支援するため、継続的にタイでのビジネスマッチング機会を提供しています。2026年1月21日（水）にも、バンコク市内のKXセンターにおいて、島根県×タイのビジネスマッチングイベントが開催されました。本イベントは、島根県しまねブランド推進課海外展開支援室とキングモンクット工科大学（KMUTT）KXセンターによる共催、タイ工業省（島根県と2014年より覚書締結）後援のもと開催されました。イベント当日は午前10時から午後4時まで、丸一日をかけて島根県企業とタイ企業との交流の場が設けられました。

背景と目的

KMUTT KX センターとは 2021 年 11 月に MOU（覚書）を締結しており、第 5 回目となる今回は、「MADE IN SHIMANE ～環境に配慮した技術やサービス、製品～」をテーマに開催されました。

この継続的な取り組みの背景には、タイ政府が推進する BCG（バイオ・循環型・グリーン）経済モデル政策があります。BCG 経済モデルは、持続可能な経済成長を目指し、環境保護と経済発展を両立させる政策として注目されています。

また、世界的に環境課題への関心が高まる中、島根県が持つ環境配慮型の技術・製品・サービスは、タイ市場において高い親和性を持つと考えられます。本イベントは、タイ企業と島根県企業の技術が融合することで、共に成長し、未来を切り拓く強力なパートナーシップが生まれることを目指し行われました。

参加企業と製品紹介

今回のイベントには、島根県から 5 社が参加、タイへ渡航し、タイ企業に向けた製品のプレゼンテーションを行いました。また、イベント会場には各社のブースが設けられ製品・サービスを紹介しました。

1. 株式会社ミライエ



株式会社ミライエは、堆肥化技術と脱臭技術の分野で独自の製品を展開しています。

イージージェット：エアレーション技術により堆肥内部まで均一に酸素を供給できる高性能堆肥化装置です。フィルター交換などの消耗品が不要な「ゼロ・コンサンプション」設計を採用しており、10年以上の使用が可能です。

ミライエ生物脱臭装置：独自の多孔質ガラス技術を活用した生物脱臭装置です。多孔質ガラスは表面積が非常に大きく、微生物が効率的に定着できるため、高い脱臭効果を発揮します。

2. 有限会社山本粉炭工業



同社が開発した山仙プール式炭化平炉は、高効率な炭化技術により、バイオマス残渣を高品質な炭に変換できる設備です。エネルギー効率に優れ、排出ガスが少ないことから環境負荷を最小限に抑えながら、連続運転による大量生産が可能です。

3. C.C. KENDENSHA CO., LTD.



同社は、島根県の株式会社研電社とタイの C.C. Autoparts の合併会社として設立され、水処理技術の分野で専門的なソリューションを提供しています。

スリットセーバー：独自のセルフクリーニング機能により目詰まりを起こさない固液分離装置です。従来装置と比較して消費電力を約 40%削減でき、サイズも 3分の1程度とコンパクトです。食品工場、畜産施設、排水処理施設などでの導入に適しています。

4. 株式会社タケダ造園



日本庭園の造園技術を持つ専門企業ですが、今回紹介したのは、その技術を応用した革新的な製品です。

RAKUTEI（楽庭）：組み立て式の日本庭園キットで、予め工場で作られた部材を現地で組み立てる方式を採用しています。造園の専門知識がなくても本格的な日本庭園を気軽に設置できます。ホテル、リゾート施設、高級スパなど、日本の美意識と癒しの空間を演出したい場所に最適です。

5. 浅尾繊維工業株式会社



厳選された繊維素材と伝統的な日本の織物技術を組み合わせた高品質な寝具・ホームテキスタイルを製造しています。羽毛布団、枕、シーツ、タオルケットなど、快適な睡眠環境を実現する製品ラインナップを揃えています。

イベント成果

本イベントには多くのタイ企業関係者が参加し、活発な商談が行われました。特に注目すべき成果として、以下の点が挙げられます。イベント当日には、事前に調整されていたタイ企業との間で、合計16件の商談が実施されました。これらの商談は、各企業の製品・サービスに関心を持つタイ企業との間で行われ、具体的な取引条件や協業の可能性について議論されました。

それ以外にも、ブースを訪れた企業との意見交換も行われ、出展した企業の皆様にとって、タイ進出のきっかけをつかむ、タイという市場イメージをより具体的なものにする機会となりました。



バンコク視察ツアー（1月22日）

イベント翌日の1月22日には、KXセンターのアレンジによりタイ現地企業2社を視察しました。この視察ツアーは、島根県企業がタイの製造業やスタートアップ企業を訪問し、タイではどのようにビジネスが行われているか、タイ企業はどのように事業活動を行っているかについての理解を深めることを目的に行われました。

訪問先①：N.Y.C. INDUSTRY



N.Y.C. INDUSTRY は、総合工業製造企業として、金型の設計・製造からプラスチック射出成形、金属プレス、機械加工、1K/2K 塗装、組立まで、一貫生産体制を構築している企業です。

同社の最大の特徴は、多様な製造プロセスを一つの工場内で完結できる点にあります。これにより、製品の設計から完成品の出荷までのリードタイムを大幅に短縮でき、コスト削減にもつながっています。また、工程間の連携がスムーズなため、品質管理も徹底されています。

さらに注目すべきは、IoT（Internet of Things）技術を積極的に活用している点です。生産工程の各段階でセンサーを設置し、リアルタイムで生産状況をモニタリングしています。これにより、設備の稼働状況や製品の品質データを即座に把握でき、問題が発生した際には迅速に対応できる体制が整っています。

同社は KX のクライアント企業であり、政府資金による技術開発支援を受けて、さらなる技術革新に取り組んでいます。

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.136

N.Y.C. INDUSTRY の視察は、タイの製造業の実力を実地で確認できる貴重な機会となりました。特に、製造能力、品質管理体制、IoT 活用など、具体的な製造現場を見ることで、タイ企業の成長度合いを知る機会となりました。また、タイ製造業のエコシステムを理解し、今後のビジネス展開の参考とすることができました。

訪問先②：Vulcan Coalition（バルカン・コアリション）



Vulcan Coalition は、AI（人工知能）技術を活用したソリューションを提供するスタートアップ企業ですが、最も注目すべきは、その社会的インパクトへの取り組みです。同社は、技術開発だけでなく、インクルーシブな社会の実現を企業理念の中核に据えています。

Vulcan Coalition の最大の特徴は、障がい者を積極的に雇用し、チームの中核メンバーとして活躍できる環境を整備している点です。同社では、障がいの有無に関わらず、一人ひとりの能力と適性を最大限に活かせる職場づくりを実践しています。

具体的には、視覚障がい者、聴覚障がい者、身体障がい者など、多様な障がいを持つスタッフが AI 開発、データ分析、カスタマーサポートなど、様々な職種で働いています。それぞれの障

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.136

が、特性に合わせた業務環境の調整や、支援技術（assistive technology）の導入により、誰もが自分の能力を発揮できる環境が実現されています。

同社の取り組みは、単なる社会貢献活動ではなく、「インクルーシブ・イノベーション（Inclusive Innovation）」という新しいビジネスモデルの実践例として評価されています。障がい者の視点や経験を製品開発に取り入れることで、より多様なユーザーニーズに応える製品・サービスの開発につながっています。

例えば、同社が開発したAIメンタルヘルスクリーニングツール「MayWe」は、障がいを持つスタッフの意見を反映することで、より使いやすく、アクセシビリティに配慮した設計となっています。

Vulcan Coalition は、民間企業だけでなく、NGO（非営利組織）や政府機関とも強力なパートナーシップを構築しています。特に、障がい者支援団体や教育機関と連携し、障がい者の就労支援プログラムや職業訓練の提供にも積極的に取り組んでいます。

イベント後の支援について

島根県は、今回参加いただいた島根県企業とタイ企業の間で具体的な取引が生まれるよう、継続的な支援を行っていきます。具体的には、以下のような支援を予定しています。

- 1. フォローアップ支援** イベントで開始された商談を継続的にサポートします。オンライン商談の設定、通訳の手配、現地視察時のサポートなど、商談を前に進めるために必要な支援を提供します。
- 2. 市場情報の提供** タイ市場の最新動向、規制情報、競合状況などの情報を希望・必要に応じて提供します。現地拠点である島根・ビジネスサポート・オフィスを通じて、リアルタイムの市場情報を収集し、島根県企業に届けます。

最後に

今回のビジネスマッチングイベントは、島根県企業が持つ環境配慮型の技術・製品・サービスと、タイ市場のニーズが高い親和性を持つことを改めて確認する機会となりました。

今後も島根県は、KX センター、KMUTT との連携を深めながら、島根県企業の海外展開を積極的に支援していきます。環境問題が世界的な課題となる中、島根県企業の技術・製品が国際社会に貢献し、持続可能な未来の実現に寄与することを期待しています。

□■タイの「完全高齢社会」への転換と「シルバー経済」戦略■□

～日本の中小企業が掴むべき新たな投資フロンティア～



こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフ、グラフです。

アジア、特にタイと日本で起こっている人口構造の進化は、マクロ経済システムと民間企業のビジネス運営に直接影響を与える重要な転換点を迎えています。タイは2024年に、60歳以上の人口が全人口の20.0%に達し、公式に「高齢社会」へ移行しました。これは、ASEAN諸国の中でシンガポールに次いで最も速いペースです。同時に、タイの将来を映し出す鏡でありモデルでもある日本は、2024年時点で65歳以上の人口が29.3%に達し、「超高齢社会」に突入しています。この人口動態の一致は、高齢者ケアの専門知識とイノベーションを持つ日本の中小企業（SME）にとって、高齢者の生活の質を向上させるソリューションを切望しているタイ市場へ進出する絶好の機会を生み出しています。

出典：https://www.nso.go.th/nsoweb/storage/survey_detail/2025/20241209145003_27188.pdf

出典：https://www.dop.go.th/download/statistics/th1738230377-2563_1.pdf

出典：<https://www.weforum.org/stories/2025/09/japans-longevity-economy/>

出典：<https://onestepbeyond.co.jp/blog/japans-aging-society-how-smes-adapt-products-for-senior-markets/>

・2024~2025 におけるタイの高齢化状況と人口動態

2024 年のタイ国家統計局のデータ分析によると、タイの高齢者人口は 14,027,411 人に達しており、その中で SME が深く理解すべき構造的な多様性が存在します。高齢者の大部分、約 59.3%は「前期高齢者（60-69 歳）」に分類され、彼らは依然として社会活動が活発な「アクティブ・シニア」であり、ライフスタイルに関連する支出能力を持っています。

一方で、1994 年には高齢者 1 人に対して労働年齢人口が 9.3 人いたのに対し、2024 年には 3.2 人にまで減少し、2044 年にはわずか 2 人にまで減少すると予測されています。この労働力の減少は、家庭に負担を強いるだけでなく、人間によるケアを代替するテクノロジーへの需要を不可欠なものにする大きな要因となっています。

タイにおける高齢者統計の比較（1994 年 - 2024 年）

指標	1994 年	2024 年	傾向
高齢者人口比率	6.8%	20.0%	急速に増加
潜在的扶養比率	9.3 人	3.2 人	低下（現役世代の負担増）
単身高齢者（独居率）	3.6%	12.9%	約 4 倍に増加
高齢者人口の男女比（男：女）	N/A	:42.1 : 57.9	女性の方が長寿

出典：<https://policywatch.thaipbs.or.th/article/life-100>

出典：https://www.nso.go.th/nsoweb/storage/survey_detail/2025/20241209145003_27188.pdf

出典：https://www.nso.go.th/nsoweb/storage/survey_detail/2025/20250103144326_47137.pdf

出典：<https://www.nationthailand.com/blogs/business/economy/40056069>

さらに、地域ごとの高齢者人口の分布は、異なるビジネス機会を示しています。ナコンラチャシマ、チェンマイ、ウボンラチャタニといった大都市圏は、高齢者の絶対数が最も多く、サービスセンターの設置や製品の配送に適しています。しかし、老年化指数を見ると、タイ北部のウッタラディット、ナン、プレーなどの県で、子供の数に対する高齢者の割合が最も高くなっています。これらのデータは、タイへの投資を検討している日本の中小企業が、バンコク

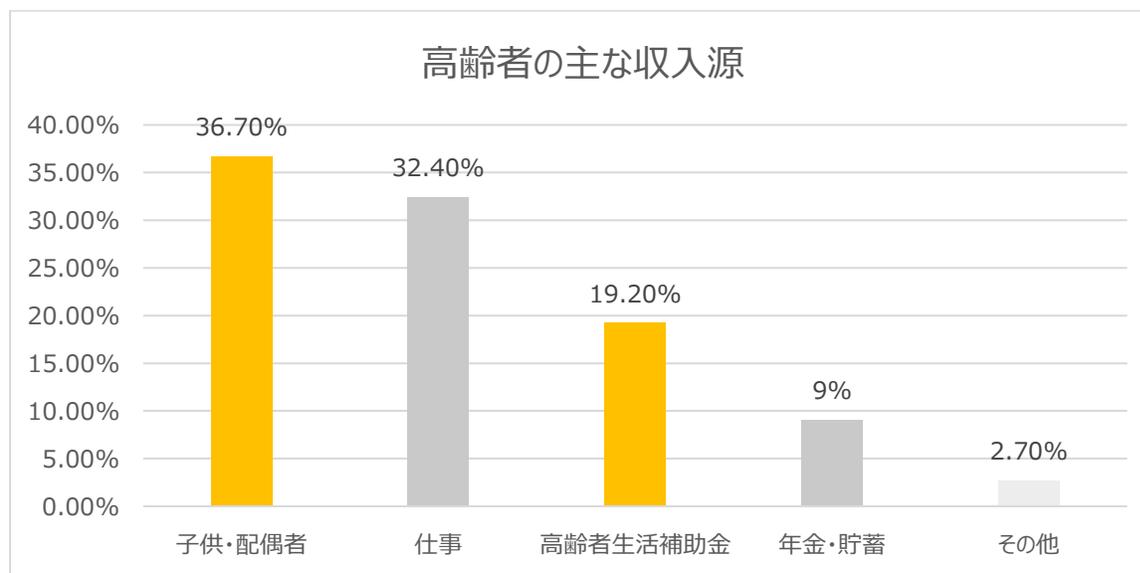
島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.136

近郊だけでなく、インフラの整備状況やヘルスケアサービスへのアクセスが異なる各県の特定のニーズを考慮すべきであることを示唆しています。

出典：https://www.nso.go.th/nsoweb/storage/survey_detail/2025/20250103144326_47137.pdf

・シルバー経済 (Silver Economy)

人口危機の最中であっても、タイ政府はシルバー経済政策を通じて、危機を機会に変えようと努めています。国家経済社会開発委員会 (NESDC) は、2033 年までに高齢者による支出額が 3.5 兆バーツに達し、年平均成長率は 5%になると予測しています。重要な後押し要因は、高齢者の収入源が多様化し始めていることです。主な収入源は依然として子供からの仕送り (36.7%) ですが、労働所得も 32.4%と高い割合を占めており、現代の高齢者は過去よりも長く働き続ける傾向にあります。これは、タイの高齢者が単なる福祉の受給者ではなく、自立した生活を送るための製品やサービスを求める「購買力のある消費者」であり、「熟練した労働力」であることを反映しています。



■：他者からの援助

■：自らの収入

出典：NSO's Elderly Survey (2021) and Krungsri Research

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.136

出典：<https://marketresearchthailand.com/insights/articles/silver-economy-trends-in-thailand-business-opportunities>

出典：<https://tdri.or.th/en/2026/01/turning-ageing-into-opportunities/>

出典：<https://www.bangkokpost.com/business/general/3148315/agency-preps-plan-for-the-silver-economy>

出典：https://www.nesdc.go.th/wordpress/wp-content/uploads/2025/11/3.2-Press-Q3_2568-ENG.pdf

2025年のタイのシルバー経済戦略は、①住環境の改善、②機能性食品と栄養、③ヘルスツーリズム、④ケアテクノロジーの4本柱に焦点を当てています。特に不動産業界では、従来の住宅からユニバーサルデザインを採用した設計への転換が進んでおり、衝撃吸収フローリング、自動照明システム、転倒検知センサーなど、安全性を重視した建材や内装設備の製造において、日本の中小企業は極めて高い専門性を持っています。

出典：<https://library.parliament.go.th/th/radioscript/rr2568-sep7>

出典：<https://onestepbeyond.co.jp/blog/japans-aging-population-how-its-creating-new-business-niches/>

出典：<https://onestepbeyond.co.jp/blog/the-potential-of-japans-silver-market-innovative-products-for-an-aging-population/>

・日本の中小企業にとっての投資機会

日本とタイの比較から、日本が10～20年前に直面した課題が、現在のタイで起こっていることがわかります。長寿経済のリーダーである日本は、身体的な制限を克服する製品を開発してきた経験と実績があります。日本の中小企業にとって、タイへの展開方法は、完成品の販売にとどまらず、ビジネスモデルの輸出や、特定のニーズを持つ顧客層にアプローチするためのタイ企業との合併事業にも広がっています。

出典：<https://www.weforum.org/stories/2025/09/japans-longevity-economy/>

出典：<https://onestepbeyond.co.jp/blog/japans-aging-society-how-smes-adapt-products-for-senior-markets/>



① 高齢者向け食品イノベーション：介護食と機能性食品

タイの高齢者向け食品市場は、サプリメントから革新的な主食へと拡大しています。身体機能の低下した高齢者にとって重要な、食べやすさ（咀嚼・嚥下のしやすさ）と見た目の美味しさを両立させる技術を有する日本の中小企業にとって、高いポテンシャルがあります。さらに、免疫力を高め、タイの高齢者に最も多いNCDs（非感染性疾患）である糖尿病や高血圧のリスクを軽減する機能性食品は、高価値で安定した成長が見込まれる市場です。

出典：https://www.dop.go.th/download/statistics/th1738230377-2563_1.pdf

出典：<https://library.parliament.go.th/th/radioscript/rr2568-sep7>

出典：<https://onestepbeyond.co.jp/blog/the-potential-of-japans-silver-market-innovative-products-for-an-aging-population/>



② ケアテックと自立支援ロボット

日本の教訓から、患者を持ち上げる大型の移乗介助ロボットは小規模な施設では採算が合わない場合もありますが、一方で「コミュニケーション・ロボット」や「見守りセンサー」の人気は高まっています。タイでは、緊急時に家族に通知するクラウド接続型のウェアラブルデバイスへの需要が、中産階級の家で新たな標準になりつつあります。IoTやAIに特化した日本の中小企業は、タイの病院やナーシングホームと提携して、不足している医療従事者の負担を軽減する遠隔健康監視システムを導入することができます。

出典：<https://www.weforum.org/stories/2025/09/japans-longevity-economy/>

出典：<https://www.thailand-business-news.com/japan/244416-when-machines-care-who-cares-the-human-cost-of-japans-robot-revolution>

出典：<https://onestepbeyond.co.jp/blog/japans-aging-population-how-its-creating-new-business-niches/>

出典：https://www.jetro.go.jp/en/invest/insights/expert-perspectives/healthtech_ecosystem.html



③ ライフスタイル・サービスおよびヘルスツーリズム

タイは世界のメディカル・ハブになることを目指しています。

タイ政府は、高齢者の自宅を宿泊施設に変える「House to Homestay」プログラムや、安全性と細やかなケアを重視した高齢者専用配車サービス「Go MAMMA」など、シニア層に特化した観光プログラムの構築に力を入れています。これらのビジネスには、シニア層にとって使いやすい高度な管理システムと予約テクノロジーが必要となります。この分野において日本製のソフトウェアは強みを持っています。

出典：<https://japanvaluers.co.th/insights/thailands-healthcare-wellness-industry-2025/>

出典：

<https://www.nesdc.go.th/download/%E0%B9%80%E0%B8%A8%E0%B8%A3%E0%B8%A9%E0%B8%90%E0%B8%81%E0%B8%B4%E0%B8%88%E0%B8%AA%E0%B8%B9%E0%B8%87%E0%B8%A7%E0%B8%B1%E0%B8%A2-silver-economy-%E0%B9%81%E0%B8%A5%E0%B8%B0%E0%B9%82%E0%B8%AD%E0%B8%81/?ddl=86744>

出典：<https://www.bangkokpost.com/business/general/3148315/agency-preps-plan-for-the-silver-economy>

出典：https://www.eria.org/uploads/media/Research-Project-Report/2021-06/Vol-4_00-Business-Opportunities-in-the-Era-of-Population-Ageing.pdf

・市場参入における課題と留意点

タイの高齢者市場への投資は、必ずしも平坦な道ではありません。日本での介護ロボット開発の歴史は、非常に重要な教訓を与えてくれます。特に「Robear」（2015年に開発された、高齢者の移乗を介助するために設計された白いクマ型のロボット）の事例は、商業的な失敗の典型的な例です。Robearは非常に注目を集めるイノベーションでしたが、実用化に至りませんでした。その理由は、本体が大きすぎて場所を取り、価格が極めて高く、限られたスペースでの実用性に欠けていたためです。Robearや、Hug、Pepperといった他のロボットの事例から得られる教訓は、最先端技術であっても以下の点に該当すれば失敗する可能性が高いということです。

- **省人化ではなく負担増**

介護者がロボットの設定、清掃、使用中の常時監視に時間を取られ、結果として高齢者と向き合う時間が削られてしまう。

- **柔軟性の欠如**

ロボットは一つのタスクを完璧にこなすよう設計されがちですが、介護現場では多種多様な状況に迅速に対応することが求められます。

出典：<https://www.thailand-business-news.com/japan/244416-when-machines-care-who-cares-the-human-cost-of-japans-robot-revolution>

出典：<https://www.mdpi.com/1660-4601/22/8/1206>

出典：<https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC10419003/>



介護ロボット「Robear」

出典：[Yahoo News](#)

さらに、技術、製品の導入にかかるコストも大きな問題です。タイの高齢者の多く（約50%）は依然として負債を抱え、十分な貯蓄がありません。そのため、製品やサービスの設計には、都市部の富裕層から地方の中間層までアクセスできるような価格層の多様化が必要です。リースや、利用分に応じた支払いなどの制度の導入は、日本の中小企業が市場をより広く開拓するための解決策となるかもしれません。

出典：<https://www.nationthailand.com/blogs/business/economy/40056053>

出典：https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/fukushi/kourei/kaigo_hoken/hojokin/kaigorobot.html

出典：<https://onestepbeyond.co.jp/blog/japans-aging-population-how-its-creating-new-business-niches/>

・最後に

2033年にタイが超高齢社会へ移行することは、単なる公衆衛生上の課題ではなく、労働力の量よりも生活の質を重視する経済構造の改革です。細やかさと人間中心のイノベーションをDNAに持つ日本の中小企業は、タイの高齢者投資機会の重要な一部となる機会を手にしています。

出典：<https://www.prd.go.th/th/content/category/detail/id/31/iid/445413>

出典：https://www.nesdc.go.th/wordpress/wp-content/uploads/2025/11/3.2-Press-Q3_2568-ENG.pdf

□■タイのバレンタインデー時期のユニークな結婚式■□

こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフ、ニンです。

2月の国際的なイベントといえば、バレンタインデーです。多くの地域では、恋愛を象徴するピンク色で街を彩り、ハートの装飾が施されたロマンチックな雰囲気になります。

タイでも、日本や他の国々と同様にバレンタインデーは大きなイベントです。ショッピングモールや学校他至る所でバレンタインデーのイベントが行われます。

このロマンチックな日に結婚するカップルも多く、海中での結婚式やゾウに乗った結婚式など、ユニークなスタイルで結婚を祝うイベントも行われます。

今回はタイのバレンタインデーに合わせて行われる結婚イベントについてお話したいと思います。

海中結婚式



画像出典：タイのニュースメディア Prachachat Turakit より

タイ南部トラン県では、バレンタインデー時期限定で海中結婚式が行われています。海中で結婚証明書の受け取りと記念撮影ができるイベントです。

トラン県の海中結婚式は、1997年に初めて開催され、2000年には世界最大の水中結婚式としてギネス世界記録にも登録されました。

2026年の海中結婚式は、「Trang Love Festival 2026」として、2月13日～15日に開催されます。トラン県で最も美しいといわれるクラダーン島での水中結婚式をはじめ、トラン市街でのパレードや聖水を掛ける儀式など様々なお祝い事が盛大に執り行われます。この海中結婚式は、ダイビング経験のない人でも、参加・見学をすることができます。

ゾウの背中で結婚式



画像出典：タイのニュースメディア TNN Thailand より

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.136

ゾウに乗った結婚式も、タイらしさの強いバレンタインイベントの一つです。このイベントはタイ東部のスリン県で毎年恒例のイベントで、これまでに15回以上開催されています。

スリン県はタイで最も多くのゾウが飼育されている地域であり、ここで行われるゾウの背中での結婚式は、国内で最も規模が大きなイベントです。

2024年に行われた同イベントには、21組のカップルが参加しました。参加したカップルは、スリン県の民族であるクイ族の伝統衣装「サッター」を身に着け、ゾウに乗って式場へ向かいました。

気球の上で結婚式



画像出典：タイのニュースメディア Prachachat Turakit より

タイ北部のチェンライ県のシンハー・パーク（Singha Park）では、気球の上で結婚式を挙げるすることができます。このイベントは「Singha Park Chiangrai International Balloon Fiesta」

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.136

として 2016 年から毎年開催されています。

2026 年は、2 月 11 日～15 日で開催が予定されています。14 日のバレンタインデーには、抽選で当選したカップルが熱気球に乗り、空の上で愛を誓うなどロマンチックな挙式が行われます。

また、2026 年のイベント会場内では、世界 11 カ国から 30 基以上の気球が集まる展示や、コンサートが行われます。また、飲食ブースもあるので、カップルだけでなく、ファミリーでも楽しむことができるイベントになっています。

最後に

前述したユニークな結婚式以外にも、バレンタインデーに「バーンラック(Bang Rak)」というバンコクの区で婚姻登録を行うことが、タイ人カップルたちに人気です。「バーンラック(Bang Rak)」の「ラック(Rak)」という言葉は、タイ語で「愛」を意味するためです。

バレンタインデーにバーンラック区で婚姻登録を行ったカップルは、区役所から金色の婚姻証明書や、ホテルやレストランのクーポンなどの特典がもらえます。

バンコク都副知事によると、2025 年 2 月 14 日にバンコク都内の全 50 区役所で婚姻登録を行ったカップル(LGBTQI+のカップルを含む)の総数は、3,296 組でした。そのうち、バーンラック区は最も多くのカップルが婚姻登録を行った区で、906 組に達しました。

この記事で紹介した結婚式イベントは、タイ人だけでなく外国のカップルも参加が可能です。人生の一大イベントである結婚式を、特別なスタイルで祝いたい、というカップルには魅力的なイベントとなっています。

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.136

※掲載情報はご自身の判断と責任におきましてご活用ください。

※別紙に、年内に開催予定のタイ・インドネシア・ベトナムの展示会情報をまとめました。

サポートオフィスでは、現地で開催される展示会へのアテンドも行っております。

関心のある展示会がございましたら、お気軽にご連絡ください。

担当：柴田 隼介 Shunsuke Shibata

Address: 1 VASU1 Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25,

Sukhumvit Rd., Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110

Mobile: +66(0)63-228-4585

Mail : shimane-bizsup@aapth.com

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.136

▶ タイ経済指標

項目	単位	2023	2024	2025	2026
GDP 成長率	前年比ベ (%)	1.9	2.6	2.4	2.4 (25 年 9 月)
人口*	千人	70,104	70,269	70,383	70,403 (25 年 11 月)
労働者の数*	千人	40,674	40,356	40,229	40,229 (25 年)
失業率**	%	0.98	1.00	0.81	0.81 (25 年)
最低賃金*	バンコク	353	363	400	400
	チョンブリー	354	361	400	400
	アユタヤー	343	350	357	357
	ラヨーン	354	361	400	400
賃金：全国製造業の平均	バーツ	14,416	14,394	14,394	14,394 (24 年)
インフレ率**	前年比ベ (%)	1.23	0.06	-0.28	-0.28 (25 年)
中央銀行政策金利*	%	2.50	2.25	1.25	1.25 (25 年)
普通貯金率**	%	0.40	0.39	0.20	0.20 (25 年)
ローン金利 (MLR) **	%	6.83	7.14	7.01	7.01 (25 年)
SET 指数*	1975 年 : 100	1,415.85	1,400.21	1,259.67	1,325.62 (1 月)
バーツ/100 円**	バーツ	24.82	23.33	22.00	19.96 (1 月)
バーツ/米ドル**	バーツ	34.80	35.29	32.88	31.27 (1 月)
円/米ドル**	円	144.07	153.72	155.88	155.88 (25 年)
車販売台数 (1 月からの累計)	台数	702,921	559,255	604,591	604,591 (25 年)
BOI 認可プロジェクト	件数	2,383	2,953	3,205	3,205 (25 年)
BOI 認可プロジェクト金額	10 億バーツ	750.12	973.14	1,615.805	1,615.805 (25 年)

*期末、**平均